

第1学年 道徳学習指導案

1 主 題 たいせつないのち (D-17 生命の尊さ)

2 教 材 「こいぬのうんち」 * 「こいぬのうんち」 平凡社

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人は、様々な人々と関わりながら生きている。そして、様々な人と関わりあう中で意識的に、または、無意識に他者と自分を比較して、自分は劣っていると感じてしまうことがある。

自分を大切にし、強くたくましく生きていこうという気持ちをもつようになるためには、自分に自信をもつこと、自分も役に立った、必要とされているという喜びを感じるということが不可欠である。自分の命の大切さを考える過程で、自分のよさに気づき、自分を受け入れ、自信をもつことで、命の大切さに気付かせていきたい。

本教材は、自分は何の役にも立たない、生きていていいのだろうかと考えていた「こいぬのうんち」が、一つの出来事をきっかけに、役に立つことができたという喜びを感じ、自分に自信をもって生きていこうと前向きに考えられるようになる話である。「こいぬのうんち」の気持ちの変化に着目し、変化した理由を考えさせることにより、ねらいとする価値に迫ることができると考えた。

(2) 子どもの実態について

1学期の道徳のアンケートの結果を見ると、「命を大切にしている」という問いに対して、クラス全員が「そう思う」と答えてはいる。しかし、実感として捉えておらず、大切な命とは自分の命であり、すべての生き物に同じ一つの命があることに気付いているとは言いがたい。1学期に学校でアサガオを育てた際、水をやり忘れてたり、夏休み前に家に持ち帰ってもらうのが遅れて、枯れそうになったりしていることもあった。

そこで、この世に存在しているものにはそれぞれの役割があり、必要のない命などないということに気付かせていきたい。そして、生きていることに喜びを見いだすことによって、命の大切さに目を向けさせていきたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

生き物の命はどれも大切であることを知り、命を尊重する。

(2) ねらいにせまる手立て

「かみさま、ぼくはこのまま、生きていいんですか」と問いかけていた「こいぬのうんち」が 生きる喜びや希望をもった理由を考えさせることにより、自分の存在に意味があることや命は大切だという気持ちをもたせることができるであろう。

(3) 本時の展開

展開	学 習 活 動	指導上の留意点 (下線: ねらいにせまる手立て)
気 付 く 3分	1 いやな思いをしたことを発表する。 ○ どんな時に、いやだなあと思いましたか。 ・まねをされた。 ・横はiriされた。 ・いやなことを言われた。	・いやな思いをしたときの気持ちを思い出させる。

さ	<p>2 教材前半の話を聞き、教材把握をする。</p> <p>(1) 「きたない」「役に立たない」と言われた「こいぬのうんち」は、どう思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いやな気持ち ・かなしい ・きたないのかなあ <p>(2) 「生きていていいんですか」という、うんちの気持ちを考える。</p> <p>○ うんちは、どんな気持ちで「生きていていいんですか」と聞いたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きていても役に立たない。 ・かなしい気持ちで言っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語りによる授業展開で、教材中のキーワードを挿絵と吹き出しカードでおさえる。 ・意見を引き出したあと、こいぬのうんちは他の物をうらやましいと思い、「生きていていいんですか」と思ったことを知らせる。 ・こいぬのうんちは、みんなから「きたない」「役に立たない」と言われたことを確かめる。
ぐ	<p>3 教材後半の話を聞き、教材把握をする。</p> <p>(1) 「きょうまで生きてきました」といううんちの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役に立つことができた。 ・花が咲いて、うれしい。 ・生きていてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きていていいんですか」と言っていたうんちが、自信をもって言い切っている言葉に着目させる。
る	<p>なぜ、うんちのきもちはかわったのでしょうか。</p>	
3 2 分	<p>(2) うんちの気持ちの変容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花を咲かせたから。 ・世界中の花を咲かせたいと思ったから。 ・役に立っていると思うようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがいを見つけて、前向きに生きていこうとするうんちの気持ちに気付かせる。 ・<u>雨が降る前と後の、こいぬのうんちの考え方を比べることを通して、命の大切さに気付かせる。</u> ・板書の記述を振り返りながら考えさせる。
見 つ め る 10 分	<p>4 「こいぬのうんち」の詩を聴き、今日の学習のまとめを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱曲「こいぬのうんち」を聴かせ、うんちの気持ちの変化をもう一度振り返らせることで、命の大切さに気付かせる。 ・今日の授業のまとめとして、ワークシートに記入させる。その後、数名に発表させて友達の考えのよさに気付かせ、広がりをもたせる。

(4) 評価

生き物の命はどれも大切であることを知り、命を尊重使用とする気持ちをもつことができたか。

(5) 板書計画



ワークシート

どうとくの じゅぎょう ワークシート
ねん くみ ばん なまえ

1 なぜ、うちのきもちはかわったのでしょうか。

2

